

学術フォーラムの概要について(事後報告)

- 1 名称:フューチャー・アースと学校教育:持続可能な社会と海洋の実現を目指して
- 2 日本学術会議の主催者:フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
- 3 その他の主催団体等:
 - ・主催:なし
 - ・後援:地理学連携機構、日本 ESD 学会、ESD 活動支援センター、特定 NPO 法人 ESD-J、公益財団法人ユネスコアジア文化センター
- 4 開催日時:令和元年 9 月 8 日(日) 13 時 00 分~17 時 00 分
- 5 開催場所:日本学術会議講堂
- 6 開催趣旨:

ESD、SDGs の実践や海からの学びの実践を通して、持続可能な社会をどう作っていくかについて、生徒や学生を含む広範な人々と議論する。
- 7 参加人数:53 名
講演者等:15 名
その他の参加者:38 名
- 8 特記事項:

本学術フォーラムは 2014 年に発出された提言「持続可能な未来のための教育と人材育成の推進に向けて」のフォローアップの一環として、高校生や大学生を含む広範な参加者を得て実施された。そこでの報告や議論の成果は「学術の動向」に特集としてまとめ、公開する予定である。また報告で用いたパワーポイントは編集の上 PDF の形で学術会議のウェブサイトに掲載する予定である。なおこの学術フォーラムは、ESD (Education for Sustainable Development) 、SDGs (Sustainable Development Goals)、Future Earth の関係者が協働で企画実施したものであるが、持続可能な社会の実現に向けて本来密接に連携すべきこれら三つの大きなプログラムの協働は実はあまり進んでおらず、その意味でも本学術フォーラムは特筆されよう。